

三重大学 学びのあしあと

(全学教職課程版)

学 部	生物資源学部	学 科	
学籍番号		氏 名	

取得予定免許種

中学校教諭一種免許状		国語		英語		社会	
高等学校教諭一種免許状		国語		英語		地理歴史	公民
		理科		農業		水産	工業

三重大学 全学教職課程 アドミッション・ポリシー

三重大学全学教職課程では、以下の意欲を持つ学生を対象に、教員の養成を実施します。

1.	学校現場および生徒を取り巻く課題に高い関心を持ち、それらに取り組む意欲を持つ学生。
2.	主体的な学習を通して幅広い教養と教科・教職に関する専門知識を身につける意欲を持つ学生。
3.	生徒および家庭・同僚・地域と積極的にコミュニケーションを図りながら指導を進める意欲を持つ学生。
4.	「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」およびそれらを総合した「生きる力」を基盤に、教員として地域社会の発展に貢献する意欲を持つ学生。

三重大学 全学教職課程 ライセンス・ポリシー

三重大学全学教職課程では、学生は以下の力を身につけます。

ライセンス・ポリシー		「4つの力」との対応
1.	学校現場および生徒を取り巻く課題を多面的に認識することができる。	「感じる力」
2.	幅広い教養と教科・教職に関する専門知識を、授業および教材の構成・工夫、生徒理解、学級運営において有効に活用することができる。	「考える力」
3.	生徒および家庭・同僚・地域と効果的に連携を図ることができる。	「コミュニケーション力」
4.	教員としての使命感・責任感を持ち、上記3つの力を総合的に発揮することができる。	「生きる力」

0. 記入上の注意点

(1) 各項目の記入内容

項 目	記 入 内 容
1. 教職科目履修チェックリスト	<p>必要単位が取得できているかを確認するためのチェックリストです。単位の修得が完了した科目について、修得時期（学年及び前期または後期）と成績を記入してください。また、「教科及び教科の指導法に関する科目」の履修にあたっては、科目名と担当教員、単位数、修得時期および成績を記入してください。</p>
2. 自分のえがく教師像	<p>自分自身が「このようになりたい」という教師像について、具体的なイメージとそのようにイメージする理由、教員免許状を取得するまでに自分が到達したい状態、その状態に至るまでの課題を記入してください。</p>
3. 授業の振り返り	<p>教員として必要な資質を身につけることを目的に、各授業の内容に関して自分自身の視点で見つめなおし、将来に活かすために記録します。したがって、<u>単に授業の感想を書くのでは不十分</u>です。以下のポイントを考慮した記入を心掛けてください。</p> <p>なお、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目の振り返りは、記入する必要はありません。</p> <p>[1] 記録のポイント</p> <p>以下の観点を参考にし、<u>具体的に</u>記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 授業で学習した内容の中で、将来教員になった時に役立つと思うこと ● 授業で学修した内容は、教員の仕事（専門教科の授業計画、学級運営、生徒指導、校務、他の教員や保護者、地域との連携など）のどのような側面にどう活かすことができるか ● その授業で用いられた授業方法等、役立つと思う部分やその理由 <p>[2] 良くない記録の例とその理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「授業がわかりやすかった・わかりにくかった」 →授業の感想にとどまり、教員になるという観点からの記録となっていない。 ● 「授業にきちんと出席した」 →授業の内容が教員という職業とどう結びつきうるかに関する記録となっていない。

1. 教職科目履修チェックリスト

(1) 教育職員免許状取得に必要な科目一覧

科目区分	授業科目名	単位数	履修	修得年度	成績
教育職員免許法 施行規則第66条 の6に定める科 目	日本国憲法	2	必修		
	スポーツ健康科学 A	1	必修		
	スポーツ健康科学 B	1	必修		
	英語 I コミュニケーション(前期)	1	必修		
	英語 I コミュニケーション(後期)	1	必修		
	データサイエンス I	2	必修		
教科及び教科の 指導法に関する 科目	教科に関する専門的事項	20	1. (2)に記入		
	教科の指導法に関する科目	4			
教育の基礎的理 解に関する科目	教育学	2	必修		
	教職入門 A	2	1 科目履修		
	教職入門 B	2			
	教育行政学	2	1 科目履修		
	教育社会学	2			
	教育心理学	2	1 科目履修		
	発達心理学	2			
	特別支援教育入門	2	必修		
	教育課程論	2	必修		
道徳、総合的な学 習の時間等の指 導法及び生徒指 導、教育相談等 に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	2	必修		
	特別活動論	2	1 科目履修		
	教育技術論 A	2	1 科目履修		
	教育技術論 B	2			
	生徒指導・進路指導論	2	必修		
	教育相談	2	必修		
教育実践に関す る科目	教育実習 (事前事後指導1単位を含む)	3	必修	4 年次	
	教職実践演習	2	必修	4 年次 後期	

2. 自分のえがく教師像

1. 1年次 (記入日 20 年 月 日)

どのような教師になりたいか
そこに至るまでの課題は何か

2. 2年次 (記入日 20 年 月 日)

どのような教師になりたいか
そこに至るまでの課題は何か

3. 3年次 (記入日 20 年 月 日)

どのような教師になりたいか
そこに至るまでの課題は何か

4. 教育実習に向けて

実習校名：	
担当学年：	年 教科：
期間：	年 月 日 ~ 月 日
教育実習における課題	
教育実習で身につけたい力	
教材研究・授業技術に関すること	生徒や教師との関係・コミュニケーションに関すること

5. 教育実習の振り返り

授業実践者としての課題	
教育実習で学んだこと	
教材研究・授業技術に関すること	生徒や教師との関係・コミュニケーションに関すること

6. 学びの振り返りシート

以下の[1]～[17]それぞれに関し、1～5の中から当てはまると思われるものを選び、○を付けてください。

[1]	生徒や家庭・同僚のものの見方、考え方、受けとめ方を認識し、その認識に基づいて共感的に理解しようとする態度について	1年	2年	3年	4年
1	生徒や家庭・同僚のものの見方、考え方、感じ取り方について、全く認識できない。				
2	生徒や家庭・同僚のものの見方、考え方、感じ取り方についておおむね認識することができるが、それに対して共感的に理解しようと思うことはできない。				
3	生徒や家庭・同僚のものの見方、考え方、感じ取り方について十分に認識することができるが、それに対して共感的に理解しようと思うことはできない。				
4	生徒や家庭・同僚のものの見方、考え方、感じ取り方を認識することができ、その認識に基づいて共感的に理解しようとする態度をおおむね備えている。				
5	生徒や家庭・同僚のものの見方、考え方、感じ取り方を認識することができ、その認識に基づいて共感的に理解しようとする態度を十分に備えている				
[2]	教員として適切な意識や行動の基準を持ち、それに基づき判断できる力について	1年	2年	3年	4年
1	教員としての適切な意識や行動の基準が、全く身につけていない。				
2	教員としての適切な意識や行動の基準をおおむね身につけたが、それに基づいて判断できる力はまだ備えていない。				
3	教員としての適切な意識や行動の基準を十分に身につけたが、それに基づいて判断できる力はまだ備えていない。				
4	教員としての適切な意識や行動の基準を身につけており、それに基づいて判断できる力をおおむね備えている。				
5	教員としての適切な意識や行動の基準を身につけており、それに基づいて判断できる力を十分に備えている。				
[3]	学校現場および生徒を取り巻く課題に関心を持ち、それらに対して積極的に向きあおうとする意識について	1年	2年	3年	4年
1	学校および生徒を取り巻く課題について意識したことがない。				
2	学校および生徒を取り巻く課題におおむね関心を持っているが、それらに対して積極的に向きあおうとする意識はまだ備えていない。				

3	学校および生徒を取り巻く課題に対して十分に関心を持っているが、それらに対して積極的に向きあおうとする意識はまだ備えていない。				
4	学校および生徒を取り巻く課題に関心を持ち、それらに対して積極的に向きあおうとする意識をおおむね備えている。				
5	学校および生徒を取り巻く課題に関心を持ち、それらに対して積極的に向きあおうとする意識を十分に備えている。				
[4]	教員としての能力向上のために学び続けることの重要性を認識し、意欲的に学び続けることができる力について	1年	2年	3年	4年
1	教員としての能力向上のために学び続けることの重要性がわからない。				
2	教員としての能力向上のために学び続けることの重要性をおおむね認識しているが、意欲的に学び続ける力は備えていない。				
3	教員としての能力向上のために学び続けることの重要性を十分に認識しているが、意欲的に学び続ける力は備えていない。				
4	教員としての能力向上のために学び続けることの重要性を認識しており、意欲的に学び続ける力をおおむね備えている。				
5	教員としての能力向上のために学び続けることの重要性を認識しており、意欲的に学び続けることができる力を十分に備えている。				
[5]	健康な状態で教職に従事できるよう、自らの心身の状態を把握し、体調管理やストレスマネジメントを行うことのできる力について	1年	2年	3年	4年
1	自らの心身の状態をきちんと把握することができない。				
2	自らの心身の状態をおおむね把握することはできるが、体調管理やストレスマネジメントを行う力は備えていない。				
3	自らの心身の状態を十分に把握することはできるが、体調管理やストレスマネジメントを行う力は備えていない。				
4	自らの心身の状態をきちんと把握し、体調管理やストレスマネジメントを行う力をおおむね備えている。				
5	自らの心身の状態をきちんと把握し、体調管理やストレスマネジメントを行う力を十分に備えている。				
[6]	教員が持つべき幅広い教養について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				

3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[7]	教科・教職に関する専門知識および教育技術について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				
3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[8]	学校現場において直面する様々な状況を自ら整理して明示的に理解し、論理的に検討する力について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				
3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[9]	学校現場において直面する様々な状況を複数の視点から偏りなく理解し、客観的に検討する力について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				
3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[10]	授業や生徒を取り巻く状況の中から、取り組むべき課題を見つけだし、その課題を探究できる力について	1年	2年	3年	4年

1	授業や生徒を取り巻く状況の中から、取り組むべき課題を見つけたすことができない。				
2	授業や生徒を取り巻く状況の中から、取り組むべき課題を見つけたすことはおおむねできるが、その課題を探究する力は備えていない。				
3	授業や生徒を取り巻く状況の中から、取り組むべき課題を見つけたすことは十分にできるが、その課題を探究する力は備えていない。				
4	授業や生徒を取り巻く状況の中から、取り組むべき課題を見つけたすことができ、その課題を探究する力をおおむね備えている。				
5	授業や生徒を取り巻く状況の中から、取り組むべき課題を見つけたすことができ、その課題を探究する力を十分に備えている。				
[11]	自ら見つけ出した課題を、責任を持って解決することのできる力について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				
3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[12]	生徒や家庭・同僚・地域からの意見や情報を正確に取り入れることができる力、および自ら効果的に情報を発信できる力について	1年	2年	3年	4年
1	生徒や家庭・同僚・地域からの意見や情報を取り入れたり、自ら情報を発信したりすることが十分にできない。				
2	生徒や家庭・同僚・地域からの意見や情報を取り入れたり、自ら情報を発信したりすることはできるが、その情報について吟味したことがない。				
3	生徒や家庭・同僚・地域からの意見や情報を取り入れたり、自ら情報を発信したりすることはできるが、その情報の適切さや正確さが十分ではない。				
4	生徒や家庭・同僚・地域からの意見や情報を正確に取り入れることができる力、および自ら効果的に情報を発信できる力のうち、片方は備えているが、もう片方は十分に備えていない。				
5	生徒や家庭・同僚・地域からの意見や情報を正確に取り入れることができる力、および自ら効果的に情報を発信できる力の両方を十分に備えている。				

[13]	生徒や家庭・同僚・地域と積極的に話し合う力について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				
3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[14]	家庭・同僚・地域と協力し、中心的な役割を担いながら生徒を指導できる力について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				
3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[15]	社会の一員として教職に携わろうとする態度について	1年	2年	3年	4年
1	全く備えていない。				
2	あまり備えていない。				
3	やや備えている。				
4	おおむね備えている。				
5	十分に備えている。				
[16]	社会における教員の役割を正しく認識し、自らが教員としてすべきこと・しなくてはならないことを十分に理解しているかどうかについて	1年	2年	3年	4年
1	全く理解していない。				
2	あまり理解していない。				
3	やや理解している。				

4	おおむね理解している。				
5	十分に理解している。				
[17]	教員として身につけるべき力を備えており、それらを発揮して教育活動に取り組むことについて	1年	2年	3年	4年
1	教員として身につけるべき力を全く備えていない。				
2	教員として身につけるべき力をおおむね備えたが、それらを発揮して教育活動に取り組むことはまだできない。				
3	教員として身につけるべき力を十分に備えたが、それらを発揮して教育活動に取り組むことはまだできない。				
4	教員として身につけるべき力を十分に備えており、それらを発揮して教育活動に取り組むことがおおむね可能である。				
5	教員として身につけるべき力を十分に備えており、それらを発揮して教育活動に取り組むことが十分に可能である。				

